

図 2.1-19(1) 福岡平野第四紀層の断面図

出典：「福岡地域の地質（地質調査所）」（唐木田ほか 平成 6 年）

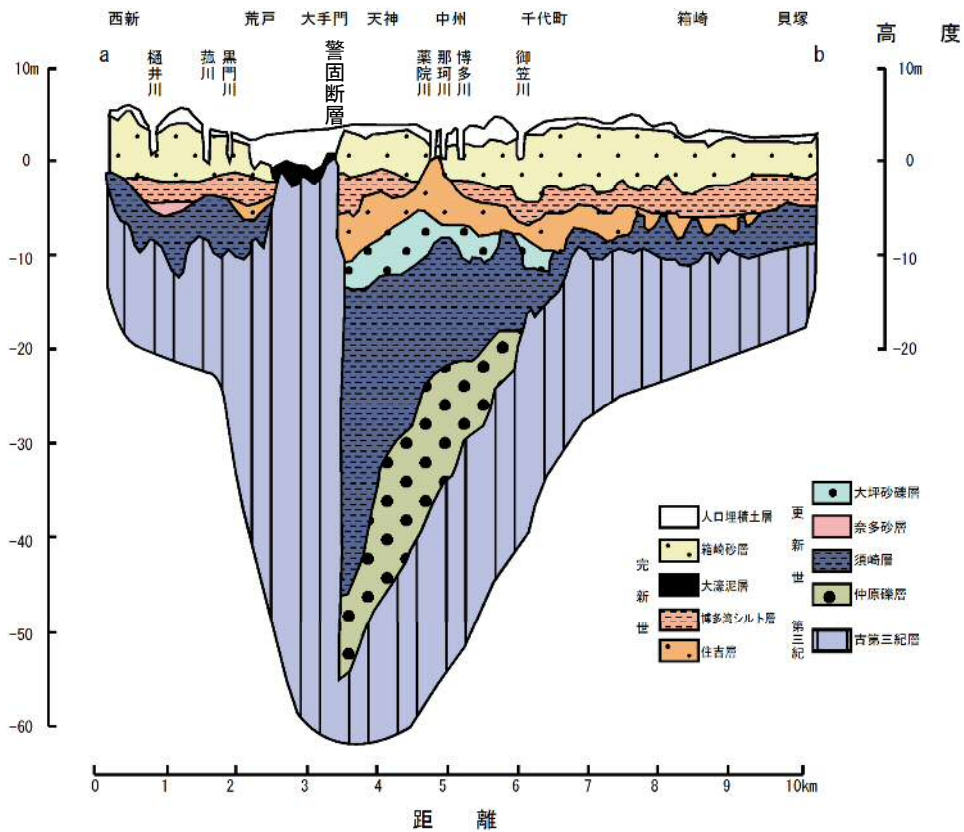


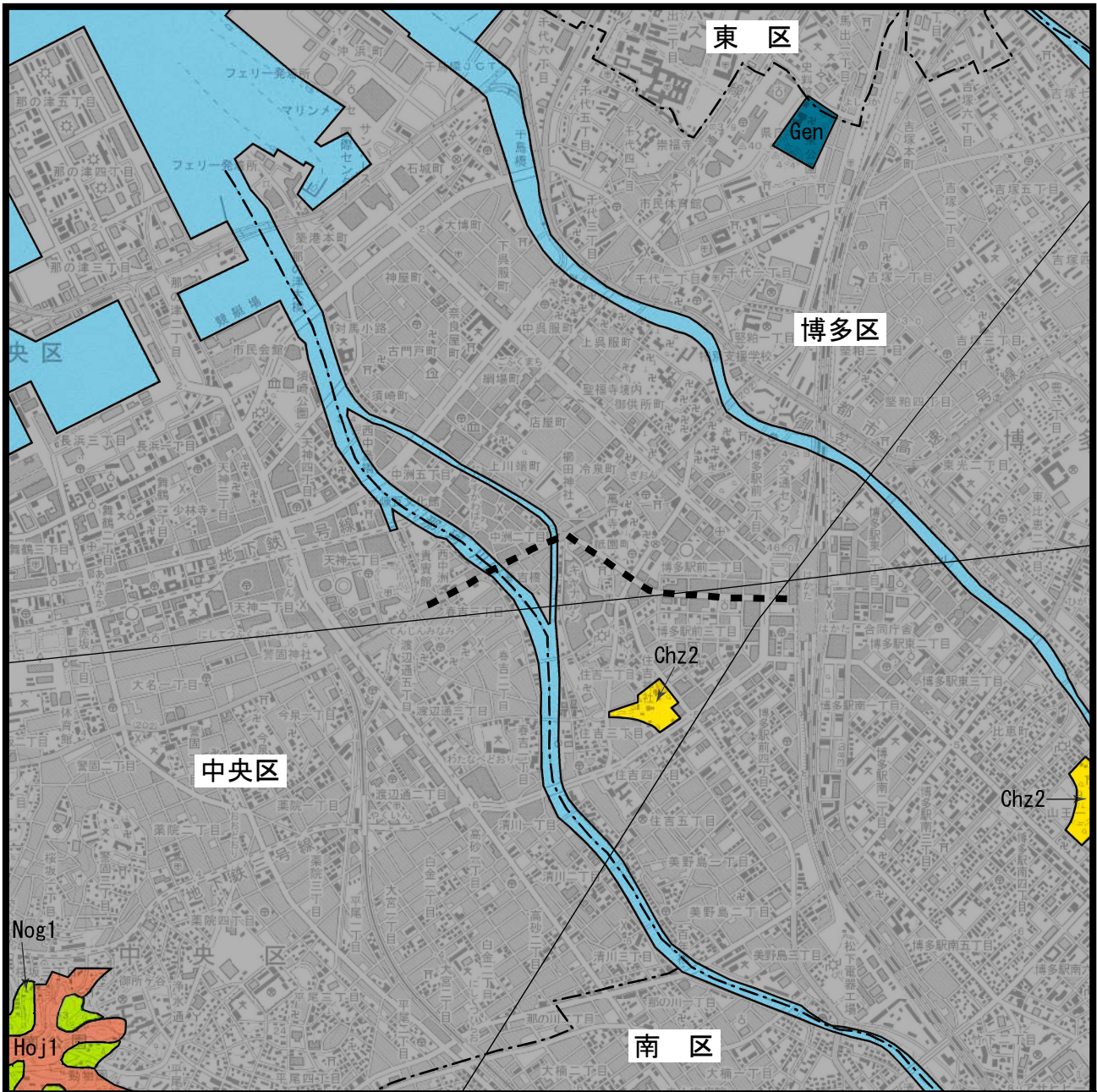
図 2.1-19(2) 警固断層と福岡平野第四紀層の断面図

出典：「福岡地域の地質（地質調査所）」（唐木田ほか 平成 6 年）


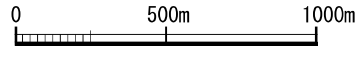
(ウ) 土 壌

対象事業実施区域及びその周辺における土壌図は、**図 2.1-20** に示すとおりです。

対象事業実施区域及びその周辺は、ほとんど市街地・その他となっており、対象事業実施区域の南側約 500m のところには、乾性褐色森林土が分布しています。



凡 例

<p>----- 対象事業実施区域</p> <p>『山地および丘陵地の土壌』 【乾性褐色森林土・赤色系】</p> <p>Hoj1 方城1統</p> <p>【乾性褐色森林土】</p> <p>Chz2 筑前2統</p> <p>【褐色森林土・黄褐色系】</p> <p>Nog1 直方1統</p>	<p>『台地及び低地の土壌』 【砂丘未熟土壌】</p> <p>Gen 玄海統</p> <p>【その他】</p> <p>市街地その他</p> <p>池、水面</p> <p>土壌統の界線</p>	<p>N</p>  <p>1:25,000</p> 
---	--	--

出典：「土地分類基本調査 土壌図 福岡」（昭和59年3月 福岡県）

図 2.1-20 土壌図

(I) 土壌汚染

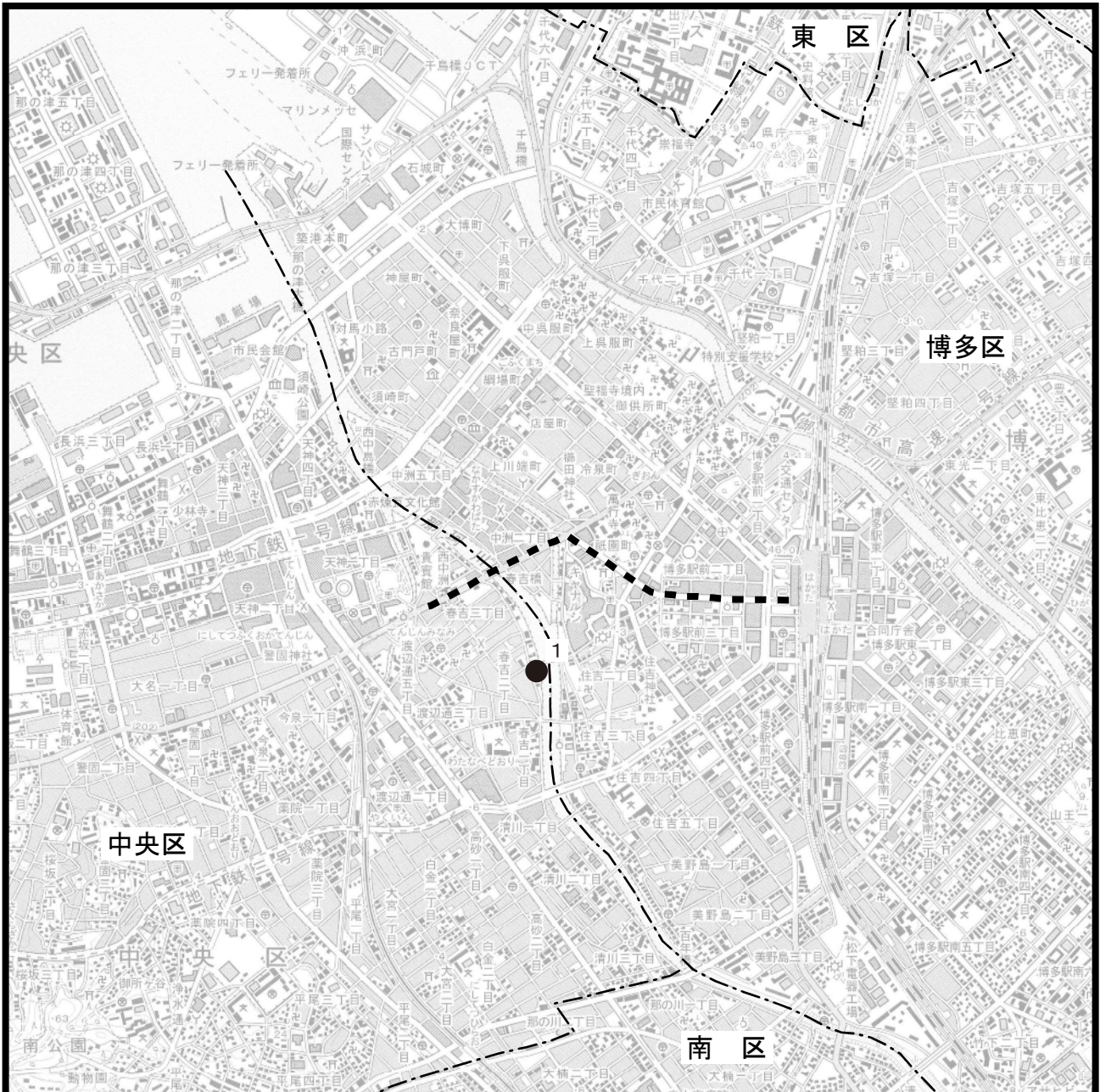
対象事業実施区域及びその周辺の土壌汚染について、図 2.1-21 に示すとおり、1 地点でダイオキシン類の調査を行っています。

平成 22 年度のダイオキシン類の測定結果は、表 2.1-33 に示すとおりであり、環境基準を達成しています。

表 2.1-33 ダイオキシン類測定結果（平成 22 年度：土壌）

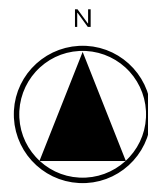
図中 番号	測定地点		測定結果 (調査月：5 月)	環境基準
			(pg-TEQ/g)	(pg-TEQ/g)
1	中央区春吉 2-3	六軒屋公園	0.023	1,000

出典：「福岡市水質測定結果報告書 平成22年度（2010年度）版」（福岡市、平成24年1月）

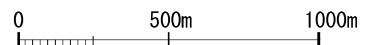


凡例

- 対象事業実施区域
- ダイオキシン類観測地点



1 : 25,000



出典：「福岡市水質測定結果報告書 平成22年度（2010年度）版」
（平成24年2月 福岡市）

図 2.1-21 土壌のダイオキシン類測定地点

イ. その他の環境

(ア) 日影

対象事業実施区域及びその周辺の地形は、ほぼ平坦であり、日影に影響する地形は特に見られませんが、商業地域であるため中高層ビルが立ち並んでいます。

なお、商業地域については、「福岡市建築基準法施行条例」（平成 19 年 3 月 15 日 福岡市条例第 29 号）に中高層の建築物の高さ制限がありますが、日影の規制は定められていません。

(イ) 電波障害

対象事業実施区域及びその周辺の地形は、ほぼ平坦であり、電波障害に影響する地形は特に見られませんが、商業地域であるため中高層ビルが立ち並んでいます。

(ウ) 風環境

対象事業実施区域及びその周辺の地形は、ほぼ平坦であり、風害に影響する地形は特に見られませんが、商業地域であるため中高層ビルが立ち並んでいます。

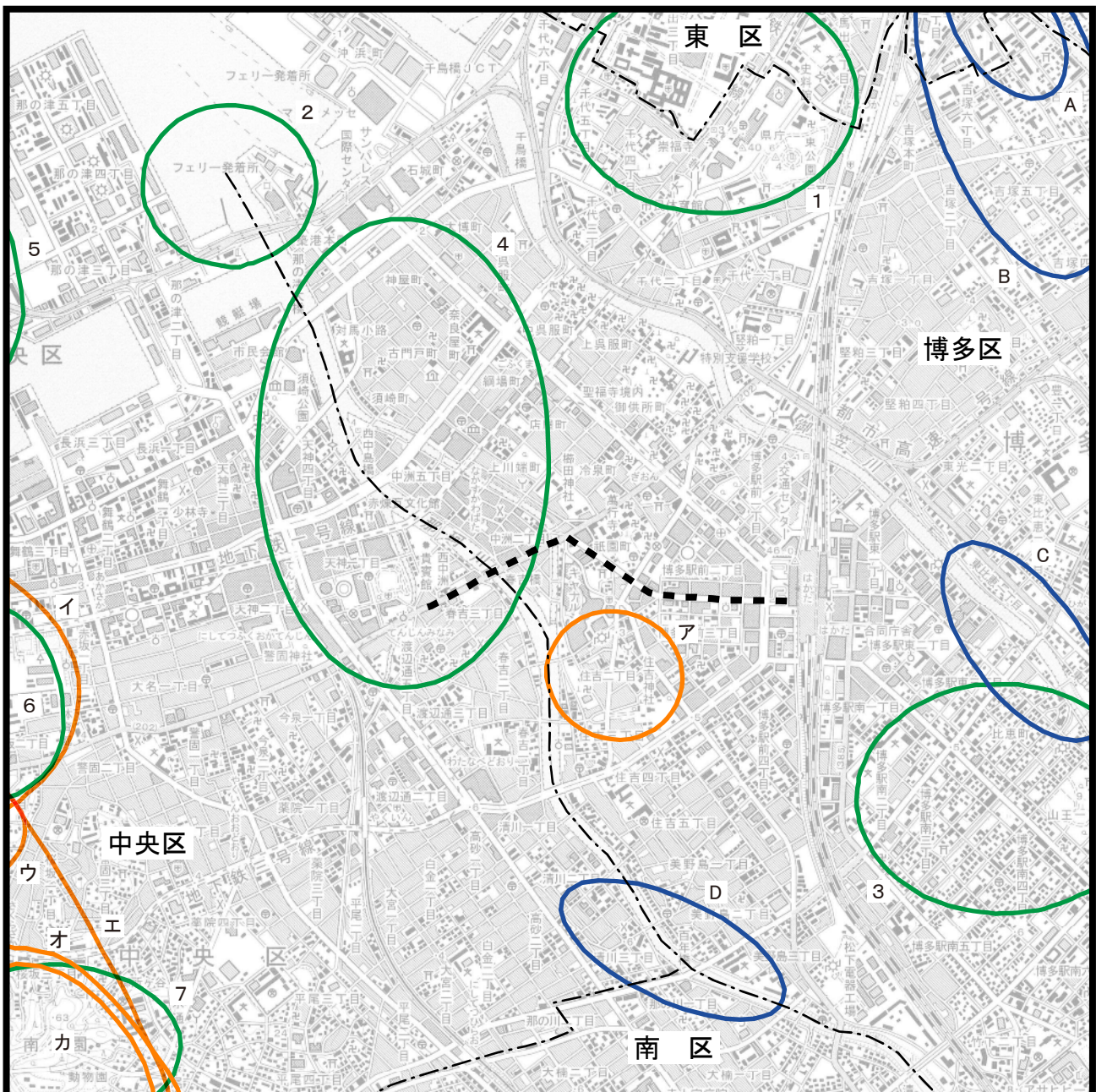
2.1.4 動物、植物、生態系

(1) 動物

福岡市では、「福岡市環境配慮指針（改訂版）」（平成19年2月 福岡市）において、市内で行われた各種の自然環境調査の報告書をもとに貴重な動物の生息状況がとりまとめられています。

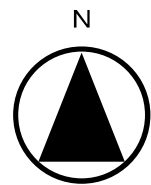
その調査結果より、対象事業実施区域及びその周辺における貴重な動物の生息状況について表2.1-34及び図2.1-22にとりまとめました。

ほ乳類、両生類、は虫類及び底生生物については、貴重種の生息は確認されていません。

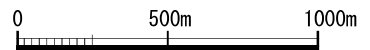


凡 例

- 対象事業実施区域
- 鳥 類
- 昆虫類
- 魚 類



1:25,000



出典：「福岡市環境配慮指針（改訂版）」（平成19年2月 福岡市）

図 2.1-22 貴重な動物の確認位置図